

“幸せな帰町”復興・再生への道のり



遠藤町長

平成29年第4回広野町議会定例会が12月14日から15日までの会期で開催されました。一般質問を経て議案審議がなされ、すべての議案が原案どおり可決されました。

会期初日には、遠藤町長が第3回定例会（9月開催）以降の町政経過報告を行いました。町民の皆さんにお伝えしたいことがたくさん盛り込まれていますので、主な内容の抜粋を掲載します。

総務課

10月10日公示、22日投票開票の日程で、第48回衆議院議員総選挙が執行されました。選挙管理委員会では、今回、町民の帰還が進んだことから、いわき市内には投票所を設けず、すべての投票所を町内に設けました。また、避難を継続している町民に対しては不在者投票制度の利用など投票機会の確保と選挙啓発に努め、投票率59・75パーセントとなりました。



LED掲示板による選挙のお知らせ

11月14日告示、19日投票開票の日程で、広野町長選挙が行われました。選挙管理委員会では、今回の町長選挙から選挙期間を通常の5日間とし、町外避難を続ける有権者に選挙啓発活動を行い、不在者投票制度の利用を呼び掛けるなどの投票機会確保に努

め、投票率は77・58パーセントとなりました。

復興企画課

9月19日、大和ハウス工業株式会社と広野町東側開発エリア第1工区内に建設を進めていました、114戸の集合住宅の建設が完了したことから、議会議員ご臨席のもと竣工式が執り行われました。集合住宅には建設中から入居予約があり、満室の状態での供用されています。

10月9日、第2回東日本大震災復興チャリティイベントが榎葉町総合グラウンドで開催され、広野夢大使であるプロレスラー宮本和志氏からその収益の一部を義援金として受領しました。

10月10日、地域連携協定を締結している福島工業高等学校との本格的な取り組みを展開していく拠点として、二ツ沼総合公園パークギャラリー内に同校地域復興支援センター「広野オフィスの設置について、両者間における合意に至ったことから、その開所式を議会議員ご臨席のもと執り行いました。

10月12日から15日までの4日間、4回目となる国際



「広野夢大使」の皆さん

フォーラムを開催しました。また、期間中の13日には第23回ひろの童謡まつりも初めての試みとして同時開催したところ、国際フォーラムには延べ千人、童謡まつりには800人の方に来場をいただき、成功裏に事業を終えることができました。

10月25日常磐自動車道いわき中央インターから広野インター間、27キロメートルの片側二車線化の本格工事着手にあたり、東日本高速道路株式会社いわき工事事務所による現地説明会を広野町公民館に

おいて開催しました。同工事は平成33年3月末完成を目途に進められます。また、9月議会で議決をいただきました。広野工業団地および仮称東町産業団地整備に係る測量設計事業は、速やかに工事発注をしています。

健康福祉課

7月に実施した総合検診の未受診者を対象とした追加検診を9月10日の日曜日、広野町保健センターにおいて実施し、約100人の方が受診されました。



ひろの健康ウォーク

9月30日、第15回ひろの健康ウォークを実施しました。今年度は、福島県立医科大学県民健康管理センター疫学室助手岡崎先生をお招きし、効果的なウォーキング方法の講習会を行い、その後、コース毎にスタートしました。参加

者約70人は、県道広野小高線より、この度公募により愛称として決定しました「広野駅東ニュータウン」の開発エリアに目を向けながら、思い思いにウォーキングを楽しみました。

11月4日、ひろの秋祭りの一環として、中央体育館において、健康まつりを開催しました。福島県医師会による健康相談、広野町食生活改善推進協議会による塩分控えめの味噌汁の試食などによる健康づくりの啓発と、放射線相談会の放射線に関する資料や測定機器の展示を行い、正しい知識の普及に努めました。「笑いと健康」をテーマとした落語会におきましては、約80人が春風亭正朝師匠の落語を聴き、笑うことは健康に良いことを学び、実践しました。

本年11月よりデイサービスセンター「広桜荘」に、毎月第一日曜日、認知症カフェの「みかんカフェ」を設置し、認知症に悩んでいる方、知識を深めたい方などの交流の場を設けることとしました。初回となる11月5日には、ご本人、ご家族の方合わせて6人とスタッフ4人が参加し、お互いに知識を深めることができました。

子ども家庭課

9月24日、社会福祉協議会主催で、日本栄養士会協賛による「ほっこり・ふれあい食事プロジェクト」事業が、保育所において実施されました。当日は老人クラブおよび栄養士会の皆さんのご厚意により、楽しくふれあい、おいしい給食をごちそうになりました。同事業は10月29日に児童館においても実施されました。

10月12日、子育て支援の一環として、子どもたちに豊かな心が育まれるように、親子が触れあう時間を作り、家族と一緒に読み聞かせを体験していただく「広野町ブックスタート事業」を開始しました。4・5ヶ月児を対象とし、離乳食教室の開催に併せて実施することとしています。

10月29日、認定こども園の建設予定地に近接する中央台・苗代替地区の住民および保護者を対象に、「保健センター」において説明会を開催しました。実施設計の監修を依頼している東北大学小野田教授にも出席頂き、参加者への説明および質疑を行いました。11月1日、ふたば未来学園

高等学校のご厚意により、保育所の子どもたちがサツマイモの芋掘りを体験しました。ふたば未来学園高等学校の先生や高校3年生5人と共に、子どもたちは一生懸命サツマイモを収穫しました。後日、サツマイモの一部が、ふたば未来学園高等学校から子どもたちへプレゼントされました。



芋掘り体験

11月2日には乳幼児健診を開催し、他町村の乳幼児も含め18人の参加がありました。また、9月から11月まで月2回、計6回、「げんキッズ」を開催し、親子併せて54人の参加がありました。

環境防災課

9月21日から9月30日までの「秋の全国交通安全運動」期間中、役場前国道6号交差

点や駅前交差点において、双葉警察署および富岡地区交通安全協会広野分会の協力をいただきながら、朝の通勤・通学時間帯に交通立哨を実施しました。運動初日の21日と最終日前日の29日には役場職員も横断幕などを持ち、啓発を行いました。



職員による交通立哨

9月23日夜、町民が行方不明になり、ご家族から消防団に協力依頼がありました。24日早朝から双葉警察署、消防団、町幹部職員が捜索を行った結果、消防団員が行方不明者を発見し、無事保護されました。

9月24日、総合グラウンドにおいて、多くの来賓のご臨席をいただき、広野町消防団、婦人消防隊、東京電力広野火力発電所自衛消防隊の参加の下、秋季検閲式を行いました。団員などの品位および技能の